



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月8日

上場会社名 株式会社ハイパー

上場取引所 東

コード番号 3054 URL <http://www.hyperpc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 江守 裕樹 TEL 03-6855-8180

四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	14,505	2.3	138	△55.1	135	△55.4	73	△62.1
27年12月期第3四半期	14,179	△17.8	309	△45.7	304	△45.9	194	△45.1

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 73百万円 (△62.0%) 27年12月期第3四半期 193百万円 (△45.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	17.53	16.94
27年12月期第3四半期	46.66	44.83

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	5,416	2,346	42.0	540.98
27年12月期	6,027	2,367	38.3	541.30

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 2,273百万円 27年12月期 2,310百万円

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	16.00	—	18.00	34.00
28年12月期	—	9.00	—		
28年12月期（予想）				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	1.5	150	△59.2	140	△61.2	80	△64.7	19.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） ー、除外 ー社 （社名） ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	4,268,400株	27年12月期	4,268,400株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	66,188株	27年12月期	88株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	4,207,981株	27年12月期3Q	4,169,940株

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資、生産等の企業活動を示す経済指標はいずれも底打ちし、緩慢ではあるものの持ち直しの動きを継続しながら推移しました。

当社グループが属するコンピュータ販売業界におきましては、Windows XPのサポート終了に伴う切り替え需要の反動減から回復の兆しが見られ、国内パソコン出荷台数は小幅ながら回復基調で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは独自の在庫販売戦略に注力するなど、売上の確保に努めてまいりました。また、将来の収益性向上のために人員の増強、システムおよび新サービスの開発に積極的に投資したことから販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,505,737千円（前年同四半期比2.3%増）、経常利益は135,780千円（前年同四半期比55.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73,765千円（前年同四半期比62.1%減）となりました。

① 情報機器販売事業

Windows XPのサポート終了に伴う切り替え需要の反動減からの回復の兆しが見られ、法人向けコンピュータ市場においては、パソコンの出荷台数が増加する状況が見られました。一方で競争の激化により、利益率の低下を招き、粗利額の確保が難しい状況となりました。その結果、売上高は9,731,267千円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は80,944千円（前年同四半期比70.4%減）となりました。

② アスクルエージェント事業

既存取引先の稼働促進や新規取引の拡大が順調に推移し、売上高は4,772,827千円（前年同四半期比14.1%増）、営業利益72,324千円（前年同四半期比101.9%増）となりました。

③ その他

第1四半期連結累計期間より新規事業として児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を開始し、計画通りに推移しております。その結果、売上高1,642千円、営業損失14,364千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、5,079,063千円（前連結会計年度末は5,717,342千円）となり、638,279千円減少いたしました。現金及び預金、商品が減少したことが大きな要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、337,654千円（前連結会計年度末は310,435千円）となり、27,218千円増加いたしました。有形固定資産及び投資その他の資産が増加したことが大きな要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、2,669,667千円（前連結会計年度末は3,104,959千円）となり、435,291千円減少いたしました。短期借入金及び一年内返済予定長期借入金が減少したことが大きな要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、400,866千円（前連結会計年度末は555,747千円）となり、154,880千円減少いたしました。長期借入金が増加したことが大きな要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ20,888千円減少し、2,346,183千円となりました。自己資本比率は39.8%から42.0%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月26日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,199,894	1,728,769
受取手形及び売掛金	2,496,421	2,445,651
電子記録債権	168,868	155,726
商品	760,662	667,093
その他	95,991	86,189
貸倒引当金	△4,495	△4,366
流動資産合計	5,717,342	5,079,063
固定資産		
有形固定資産	45,352	53,359
無形固定資産	128,410	122,566
投資その他の資産		
投資有価証券	33,377	43,432
その他	177,498	192,257
貸倒引当金	△74,202	△73,962
投資その他の資産合計	136,673	161,728
固定資産合計	310,435	337,654
資産合計	6,027,777	5,416,717
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,124,991	2,159,397
短期借入金	300,000	-
1年内返済予定の長期借入金	450,684	334,564
未払法人税等	32,274	-
賞与引当金	46,851	22,738
その他	150,157	152,966
流動負債合計	3,104,959	2,669,667
固定負債		
長期借入金	539,173	380,846
その他	16,574	20,020
固定負債合計	555,747	400,866
負債合計	3,660,706	3,070,533

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,981	297,981
資本剰余金	270,980	268,182
利益剰余金	1,740,056	1,737,783
自己株式	△46	△32,053
株主資本合計	2,308,972	2,271,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,474	1,433
その他の包括利益累計額合計	1,474	1,433
新株予約権	56,624	72,855
純資産合計	2,367,071	2,346,183
負債純資産合計	6,027,777	5,416,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,179,624	14,505,737
売上原価	12,176,835	12,579,727
売上総利益	2,002,789	1,926,009
販売費及び一般管理費	1,693,343	1,787,105
営業利益	309,445	138,904
営業外収益		
受取利息	776	681
受取配当金	497	500
広告料収入	1,800	1,200
その他	2,314	1,855
営業外収益合計	5,388	4,238
営業外費用		
支払利息	8,139	5,978
支払手数料	2,300	989
その他	114	394
営業外費用合計	10,554	7,361
経常利益	304,279	135,780
税金等調整前四半期純利益	304,279	135,780
法人税、住民税及び事業税	94,980	51,897
法人税等調整額	14,746	10,120
法人税等合計	109,726	62,017
四半期純利益	194,552	73,763
親会社株主に帰属する四半期純利益	194,552	73,763

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日）
四半期純利益	194,552	73,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△752	△41
その他の包括利益合計	△752	△41
四半期包括利益	193,800	73,721
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,800	73,721

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月23日開催の取締役会決議に基づき、自己株式88,100株の取得を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が42,654千円増加しております。

また、ストック・オプションの行使による自己株式の処分に伴い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が10,648千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は32,053千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,995,155	4,184,468	14,179,624	-	14,179,624	-	14,179,624
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,995,155	4,184,468	14,179,624	-	14,179,624	-	14,179,624
セグメント利益	273,622	35,822	309,445	-	309,445	-	309,445

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんについては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,731,267	4,772,827	14,504,094	1,642	14,505,737	-	14,505,737
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,731,267	4,772,827	14,504,094	1,642	14,505,737	-	14,505,737
セグメント利益又は 損失(△)	80,944	72,324	153,269	△14,364	138,904	-	138,904

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業等を含んでおります。